

2024年4月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+40.8	大 宮 店	+5.3
堺 店	△1.1	柏 店	※2 △7.2
京 都 店	※1 +26.5	(株)高島屋各店計	+17.3
泉 北 店	△0.3	岡 山 高 島 屋	△7.1
日 本 橋 店	+15.2	岐 阜 高 島 屋	+16.6
横 浜 店	+5.7	高 崎 高 島 屋	△0.5
新 宿 店	+18.5	国 内 百 貨 店 計	+16.3
玉 川 店	△3.8		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+29.6%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+16.3% 2019年比+17.6% 2018年比+16.5%といずれも上回りました。

国内顧客は、気温の上昇に伴いブラウス、カットソーや日傘、帽子などが堅調に推移しました。

さらに、ゴールデンウィークに向け、スーツケースなどの旅行用品にも動きが見られました。

また、インバウンドは、ラグジュアリーブランドを中心とする高額品が売上高を押し上げ、単月としては2ヶ月連続で過去最高を更新しました。

店頭売上高	前年比+16.3%	2019年比+14.3% (※+17.6%)	2018年比+13.0% (※+16.5%)
免税売上高	前年比+209.0%	2019年比+106.6% (※+107.1%)	2018年比+112.2% (※+112.8%)
免税を除いた店頭売上高	前年比+2.5%	2019年比+4.2% (※+7.5%)	2018年比+2.6% (※+6.1%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、大宮店、岐阜店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、スポーツ、リビング、美術、食料品、サービスが前年実績を上回りました。

以 上